

流動性に係る経営の健全性の状況（単体・単体流動性カバレッジ比率に関する開示事項）

1. 時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項（第2条第2項第1号）

当行の2021年3月期第2四半期の単体流動性カバレッジ比率は、算入可能適格流動資産の合計額は増加したものの、分母のホールセール無担保資金調達に係る資金流出額も増加したことから、2021年3月期第1四半期と比較して1.2%下落しております。

(2015年金融庁告示第7号、別紙様式第一号)

(単位：百万円、%、件)

項目	当年第2四半期 (2021年3月期 第2四半期)		当年第1四半期 (2021年3月期 第1四半期)		前年第2四半期 (2020年3月期 第2四半期)		前年第1四半期 (2020年3月期 第1四半期)	
適格流動資産 (1)								
1 適格流動資産の合計額	1,143,440		1,063,789		1,050,212		1,065,886	
資金流出額 (2)								
2 リテール無担保資金調達に係る資金流出額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
3 うち、安定預金の額	3,560,366	284,973	3,459,019	279,107	3,396,252	275,440	3,366,192	274,052
4 うち、準安定預金の額	1,015,683	30,470	954,698	28,640	917,436	27,523	894,324	26,829
5 ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	2,544,683	254,502	2,504,321	250,466	2,478,816	247,917	2,471,868	247,222
6 うち、適格オペレーショナル預金の額	1,411,600	723,796	1,382,994	680,036	1,237,695	619,718	1,303,145	669,200
7 うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	0	0	0	0	0	0	0	0
8 うち、負債性有価証券の額	1,236,031	548,227	1,207,391	504,433	1,099,567	481,589	1,162,233	528,288
9 有担保資金調達等に係る資金流出額	175,568	175,568	175,602	175,602	138,128	138,128	140,912	140,912
10 デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	287	287	279	279	3,378	3,378	5,888	5,888
11 うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	333,476	46,606	321,737	46,586	317,344	45,672	323,439	45,288
12 うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	13,636	13,636	14,434	14,434	13,681	13,681	13,714	13,714
13 うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	0	0	0	0	0	0	0	0
14 資金提供義務に基づく資金流出額等	319,839	32,970	307,303	32,152	303,663	31,990	309,725	31,574
15 偶発事象に係る資金流出額	20,455	16,351	31,674	18,061	33,368	21,251	34,761	20,540
16 資金流出合計額	226,774	6,541	229,706	6,527	220,762	6,371	219,709	6,226
17 資金流出合計額	1,078,556	1,078,556	1,030,598	1,030,598	971,832	971,832	1,021,197	1,021,197
資金流入額 (3)								
18 有担保資金運用等に係る資金流入額	0	0	0	0	0	0	0	0
19 貸付金等の回収に係る資金流入額	258,679	166,479	289,963	199,031	328,006	236,604	290,233	195,419
20 その他資金流入額	44,211	33,248	44,663	21,613	45,823	21,754	52,143	16,282
21 資金流入合計額	302,890	199,728	334,627	220,644	373,830	258,358	342,377	211,701
単体流動性カバレッジ比率 (4)								
22 算入可能適格流動資産の合計額	1,143,440	1,143,440	1,063,789	1,063,789	1,050,212	1,050,212	1,065,886	1,065,886
23 純資金流出額	878,828	878,828	809,953	809,953	713,474	713,474	809,495	809,495
24 単体流動性カバレッジ比率	130.1	130.1	131.3	131.3	147.1	147.1	131.6	131.6
25 平均値計算用データ数	61	61	61	61	62	62	59	59

2. 単体流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項（第2条第2項第2号）

当行の単体流動性カバレッジ比率は、最低水準である100%を上回って推移しており、問題の無い水準にあると評価しております。また、今後も単体流動性カバレッジ比率は100%を上回る水準で推移することを見込んでおります。

3. 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項（第2条第2項第3号）

当行の2021年3月期第2四半期の算入可能適格流動資産は、その90%以上を流動性が高いとされる日本国債、日本銀行預け金及び政府保証債等のレベル1資産で保有しており、2021年3月期第1四半期と比較してその水準に変化はございません。

また、主要な通貨のうち米ドルにおいて、算入可能適格流動資産の合計額が純資金流出額を下回っておりますが、米ドル調達および買い切りのために別途確保している円資産を勘案すると、算入可能適格流動資産の合計額が純資金流出額を上回ることから問題ないと評価しております。

4. その他単体流動性カバレッジ比率に関する事項（第2条第2項第4号）

(1) 「適格オペレーショナル預金に係る特例」の適用について

当行は流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」を適用しておりません。

(2) 「時価変動時所要追加担保額」の算出方法について

当行は時価変動時所要追加担保額の算出方法について、流動性カバレッジ比率告示第37条に定める「簡便法」を適用しております。

(3) 「その他偶発事象に係る資金流出額」について

流動性カバレッジ比率告示第53条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」については、投資ファンド等からのキャピタル・コール等を計上対象としております。

なお、「その他偶発事象に係る資金流出額」が「資金流出合計額」に占める割合は、2021年3月期第2四半期において1%未満です。

(4) 「その他契約に基づく資金流出額」について

流動性カバレッジ比率告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」については、別段預金で受入れた歳入金の決済等を計上対象としております。

なお、「その他契約に基づく資金流出額」が「資金流出合計額」に占める割合は、2021年3月期第2四半期において1%です。

(5) 「その他契約に基づく資金流入額」について

流動性カバレッジ比率告示第73条に定める「その他契約に基づく資金流入額」については、流動性リスク管理上の重要性が高いと認められる取引等を計上対象としております。

なお、「その他契約に基づく資金流入額」が「資金流入合計額」に占める割合は、2021年3月期第2四半期において11%です。

(6) データの使用について

流動性カバレッジ比率の水準への影響が小さいと判断される小規模の連結子法人については、資金流出額及び資金流入額を簡便的な方法で計算することとしております。なお、当行は2021年3月期第2四半期において連結子法人を有しておりません。

(7) 日次データを使用しない項目について

流動性カバレッジ比率の水準への影響が小さい以下の項目については日次データに代えて最新の月末データを使用して流動性カバレッジ比率を計算することとしております。

- ・海外支店取引に係る項目
- ・その他重要性に乏しい項目

なお、2021年3月期第2四半期において、日次データを使用しない項目が「適格流動資産の合計額」に占める割合は1%未満、「資金流出合計額」に占める割合は1%、「資金流入合計額」に占める割合は2%です。